

第18期「京都教師塾」カリキュラム

通塾期間 令和5年10月14日(土)～令和6年6月8日(土)
 (入塾式・卒塾式・京都市教育学講座・特別講座・授業実践講座)

講座名	回	実施日時	プログラム	講師・報告者等	内容	講座の流れ	備考 (補講日時 他)
入塾式		10月14日(土) 12:20～13:10	入塾式	式辞 中永 健史(京都教師塾塾長) 祝辞 稲田 新吾(京都市教育長)	式辞/入塾宣言/オリエンテーション		10月20日(金) 17:30～18:20
第1回	第1回	10月14日(土) 13:20～16:30	京都市教育学講座①	荒瀬 克己(指導部顧問) 東良 雅人(総合教育センター指導室長)	【対談】 教師に求めるもの ～京都教師塾開講にあたって～	対談 グループでの話し合い	10月20日(金) 18:35～20:00
	第2回	10月28日(土) 13:00～16:00	京都市教育学講座②	若手教員	【パネルディスカッション】 教師の喜びと厳しさ	パネルディスカッション グループでの話し合い	11月6日(月) 18:20～19:40
	第3回	11月11日(土) 13:00～16:00	京都市教育学講座③	中堅教員2名	【実践発表】 子どもを豊かに育む教育	実践発表 グループでの話し合い	11月17日(金) 18:20～19:40
	第4回	11月25日(土) 13:00～16:00	京都市教育学講座④	初田 幸隆 (学校指導課参与)	【講義】 教師に求められる資質・能力とは ～自己理解を深め、目標を明らかにする～	講義 グループでの話し合い	12月1日(金) 18:20～19:40
	第5回	12月9日(土) 9:20～12:20	京都市教育学講座⑤ (小学校専門講座)	竹内 直美 藤田 路乃(教員養成支援室専門主事) 中村 友彦 (総合教育センター主任指導主事)	【パネルディスカッション】 小学校における教師の実践 ～児童理解を深めるために～	パネルディスカッション グループでの話し合い	12月15日(金) 18:20～19:40
		12月9日(土) 13:10～16:10	京都市教育学講座⑤ (中学校専門講座)	太田 勝 中村 季弘 (教員養成支援室専門主事) 岩本 信吾 (総合教育センター指導主事)	【パネルディスカッション】 中学校における教師の実践 ～生徒理解を深めるために～	パネルディスカッション グループでの話し合い	12月15日(金) 18:20～19:40
	第6回	1月6日(土) 9:20～12:20	京都市教育学講座⑥ (中学校専門講座)	木下 要子 (総合教育センター指導主事)	【模擬授業】 生きる力を育む道徳教育 ～自らを律する力を育む授業づくり～	模擬授業 グループでの話し合い	1月12日(金) 18:20～19:40
		1月6日(土) 13:10～16:10	京都市教育学講座⑥ (小学校専門講座)	岸本 知可 (総合教育センター指導主事)	【模擬授業】 小学校における教科学習(道徳) ～自ら学ぶ力を育む授業づくり～	模擬授業 グループでの話し合い	1月12日(金) 18:20～19:40
	第7回	1月20日(土) 9:20～12:20	京都市教育学講座⑦ (高等学校専門講座)	安達 太郎 (学校指導課主任指導主事)	【講義】 高等学校における教師の実践	講義 グループでの話し合い	1月26日(金) 18:20～19:40
		1月20日(土) 9:20～12:20	京都市教育学講座⑦ (養護教諭専門講座)	河野 玲子 (体育健康教育部室副主任指導主事)	【講義】 もとめられる養護教諭像	講義 グループでの話し合い	
1月20日(土) 13:10～16:10		京都市教育学講座⑦ (総合支援学校専門講座)	藤田 昌資 (総合教育センター主任指導主事)	【講義】 総合支援学校における教師の実践	講義 グループでの話し合い	1月26日(金) 18:20～19:40	
1月20日(土) 13:10～16:10		京都市教育学講座⑦ (栄養教諭専門講座)	増田 真弓 (体育健康教育部室副主任指導主事)	【講義】 もとめられる栄養教諭像	講義 グループでの話し合い		
2月3日(土) 13:00～16:00		京都市教育学講座⑧	保護者3名	【パネルディスカッション】 先生を目指す塾生に期待すること ～保護者の立場から～	パネルディスカッション グループでの話し合い	2月9日(金) 18:20～19:40	
特別講座 (3つのカテゴリの中から1講座を選択し、計3講座を視聴)	第9回	2月17日(土) 13:00～16:30	京都市教育学講座⑨	初田 幸隆 (学校指導課参与)	【ロールプレイ】 学校現場での生徒指導対応を想定した ロールプレイ	ロールプレイ グループでの話し合い	2月26日(月) 18:20～19:40
	第10回	3月2日(土) 13:00～16:00	京都市教育学講座⑩	中永 健史 (京都教師塾塾長)	【講義】 市民・地域とともに進める 京都の教育改革～信頼される教員～	講義 グループでの話し合い	3月8日(金) 18:20～19:40
	カテゴリI	特別講座①	島本 由紀 (学校指導課参与)	【講義】 地域とともに育む京都の教育 ～番組小学校の創設と京都ならではの教育活動～	講 義		10月 配信予定
		特別講座②	栗本 浩行 (学校指導課首席指導主事)	【講義】 「確かな学力」を培うための京都市の取組 ～授業改善や教材研究などの実践～			
		特別講座③	前田 穰 (総合教育センター主任指導主事) 岩本 信吾 (総合教育センター指導主事)	【講義】 京都市でのGIGA端末を活用した授業実践			
	カテゴリII	特別講座④	東良 雅人 (総合教育センター指導室長)	【講義】 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり			
		特別講座⑤	吉田 夏紀 (総合教育センター副主任指導主事)	【講義】 小学校における授業づくりのポイント(国語科)			
		特別講座⑥	東谷 祐子 (総合教育センター主任指導主事)	【講義】 教師の実践から学ぶ授業づくり ～授業観察の見方・考え方～			
	カテゴリIII	特別講座⑦	伊丹 由紀 (総合教育センター主任指導主事)	【講義】 京都市における一人一人の教育的ニーズに 応じた支援の実現に向けて			
特別講座⑧		安藤 昇 (学校指導課参与)	【講義】 京都市の人権教育				
特別講座⑨		藤本 学 (生徒指導課副主任指導主事)	【講義】 いじめ・不登校問題への対応の現状について ～「子ども支援の視点」に立った生徒指導～				
授業実践講座	第1回	4月13日(土) 9:30～16:30	授業実践講座① 【学習指導案作成】	総合教育センター指導主事 (各校職種の教科・領域)	オリエンテーション 講義 学習指導案作成	※午前または午後の いずれかの日程に なります。	
	第2回	5月11日(土) 9:30～16:30 5月25日(土) 9:30～16:30	授業実践講座② 【模擬授業】	総合教育センター指導主事 (各校職種の教科・領域)	【模擬授業】 塾生一人一人による模擬授業 【指導助言】 指導主事からの専門的な指導助言	※5月11日の午前または 午後、5月25日の午前 または午後のうち、 いずれかの日程に なります。	
	卒塾式	6月8日(土) 14:00～16:00	卒塾式	式辞 中永 健史 (京都教師塾塾長)	式辞 卒塾の言葉	6月14日(金) 18:20～19:40	

★その他のカリキュラムとして、「学校実地研修」や「フィールドワーク」があります。

Message

夢を実現した第16期生からのメッセージ

教師として大切なことを学びました



桃山小学校 教諭
さかやま りな
酒向 颯

私は小学生の時から教師になりたいと考えていました。大学の講義を受けたり学生ボランティアとして学校現場で活動したりしていましたが、「教師についてより深く学びたい」「より実践的なことを経験したい」と思い、京都教師塾に入塾しました。

京都教師塾では、京都市の教育実践について学ぶ教育学講座に加え、授業実践講座やフィールドワーク、学校実地研修など様々な視点から教員としての知識や心構え、京都の教育について深く学ぶことができました。グループワークでは同じ立場の大学生だけでなく、一般の企業で働く方や学校現場で働いている方など様々な立場の人と意見を交えることができ、同じ志をもつ仲間と教育について熱く語ることは、自分の考えの幅を大きく広げることにつながりました。また、毎回のレポートに担当の先生から、温かいコメントやアドバイスをいただき、京都の教員になりたいという気持ちがあります。今年度から教壇に立っていますが、京都教師塾で学んだ経験がとても活きていると実感しています。皆さんもぜひ、京都教師塾で多くのことを学んでください。きっとこれからの皆さんの力になると思います。応援しています。

京都教師塾での学び



朱雀中学校 教諭
あわづ みさこ
栗津 美沙

京都教師塾に入塾する前には、教師を目指す一方で、「本当に自分は教師に向いているのか」と、教育現場に対して、漠然とした不安を抱えていました。

京都教師塾では、教育現場が抱える様々な課題について、その理論と実践を学び、それについて自分なりに考え、仲間と議論します。教育現場をまだよく分かっていない私にとって、それはとても新鮮で、充実した時間でした。そうして学びを深める中で、子どもを中心に教職員・保護者・地域の方が心を通わせ、連携・協働して行う教育という仕事への責任やおもしろさ、教師塾の先生方や塾生の熱意を感じ、改めて、教師になりたいという気持ちを再確認することができました。

このような、教師塾での学びを蓄積したレポート集は私の宝物です。当時の私が、教育について本気で考えた跡と、担当の先生からの手厚いフィードバックが詰まったこの冊子は、教員採用試験で役立つだけでなく、今でも、初心を忘れることがないよう、振り返るものとなっています。

皆さんの中には、教師を目指すことが不安な人もいらっしゃるかもしれません。しかし、京都教師塾での経験は、必ず今後、教育に携わる上で力になります。ぜひ、一歩踏み出してほしいと思います。

募集の概要 *詳細については別紙の募集要項を参照してください。

募集人数	定員300名
入塾資格	次の①及び②の要件を満たす方 ①昭和40年4月2日以降生まれで、小学校・中学校・高等学校・総合支援学校の教員(養護教諭、栄養教諭を含む)を目指す学生や社会人 ②教員免許状の既取得者または令和8年3月までに取得予定の方
提出書類	①入塾願書(写真貼付) ②返信用封筒(角2号 24×33.2cm)に140円切手を貼付し、自宅の郵便番号・住所・氏名を明記(連絡先複数の場合は、希望する住所)。結果通知の送付に使用。
提出方法	入塾願書(①)、結果通知用返信用封筒(②)を同封し、封筒表面に「 教師塾願書在中 」と朱書きの上、教員養成支援室に郵送してください。*郵送のみの受付
受付期間	令和5年 7月1日(土) ～令和5年 9月4日(月) (期間内の消印があるものに限る) *ただし、令和6年度京都市立学校教員採用選考試験(第2次)の受験者は、特例として、令和5年10月2日(月)まで受け付けます。

申込方法	専用フォームから申込 (1)募集要項を確認後、専用フォームから申込 ①氏名・ふりがな ②連絡先住所 ③電話番号 ④教員免許状の取得(見込)年月等 (2)入塾願書を受付期間内に郵送すること
選考方法	書類審査を行い、入塾者を決定します。
受講料	12,000円(保険料込み)*全期間を通して*免除制度あり 京都市総合教育センター(京都市下京区河原町通仏光寺西入)
主な研修会場	

■郵送先
京都市教育委員会 京都市総合教育センター 教員養成支援室
〒600-8023 京都市下京区河原町通仏光寺西入
TEL: 075-342-3883 FAX: 075-342-3886

■Eメール
kyoinyosei@edu.city.kyoto.jp **京都教師塾** 検索



令和5年7月1日発行

京都で先生になろう!

教師になろうという
高い志をもつ皆さんのための教員養成塾です。
歴史と文化のまち京都でチャレンジ!

入塾者募集ガイド

令和5年10月14日 開講



第18期 京都教師塾

京都市教育委員会

京都教師塾とは

「教師になろう」という高い志と情熱・行動力にあふれる塾生が、大学で身に付けた専門的知識を基盤として、京都市の教員の熱意溢れる取組や本市教育の理念、市民ぐるみの教育実践に直接ふれ、教師として求められる資質や実践的指導力に磨きをかける場です。

塾生同士が高め合い、教師になるための土台を築く塾ですので、京都市以外での教員採用試験の受験を検討されている方も、大歓迎です。



京都教師塾が目指すもの

塾生が、5つの観点を大切に、多くの仲間たちと高め合い、磨きながら、「学び続ける教師」となることを目指します。



京都教師塾 塾長
中永 健史

(元京都市総合教育センター所長)

京都教師塾は、京都市の優れた教育実践を学び、子どもたちとの出会いから教師としての実践的指導力を身に付ける、生きた学びの場です。教師への熱い志をもつ仲間と切磋琢磨しながら、子どもたちや社会に尊敬・信頼される教師を目指してください。

私たち京都教師塾は、教師になる努力を怠らない皆さんを全面的に支援します。

京都教師塾について詳しく紹介しているガイダンス動画です。ぜひご覧ください。



5つの観点

体感

教育に対する「厳しさ」とともに「喜び」を体感する

自覚

教育の果たすべき社会的責務を自覚する

理解

京都市教育の伝統を踏まえ、市民ぐるみで進める教育改革の理解を深める

探究

一人一人の子どもを徹底的に大切に授業の在り方を探究する

哲学

実践に裏付けられた教育に対する深い哲学をもつ

概要 京都教師塾 4つの柱

「京都教師塾」では、

①京都市教育学講座

②京都市立学校実地研修

③授業実践講座

④フィールドワーク

を通じて、教師として求められている資質や実践的指導力を育成します。

1 京都市教育学講座

現職教員からのアドバイスなどより実践的な講義

共通必修7回 校種・職種別必修3回

特別講座3回・選択制

■講座では、①京都市の教育実践に関する講義→②塾生全体での振り返り→③少人数グループでの話し合いというステップで学びます。なかでも校種・職種別の専門講座では、内容を自分で選択して、より実践的な講義を受けます。

■少人数グループでの話し合いは、現職教員などのグループアドバイザーが方向付けやまとめを進行し、塾生は適切なアドバイスを受けながら仲間と交流します。

■特別講座は、喫緊の教育課題等について学ぶオンライン講座です。京都市の教員採用内定者の研修会にも位置付けています。

先輩教員からも熱い思いを聴くことができます!



3 授業実践講座

模擬授業の演習を通して授業づくりの基礎を学ぶ

必修2回

■学習指導案の作成と模擬授業の演習を通して、授業づくりの基礎を学び、実践に向けた基本を身に付けます。

■自分が希望する校種・職種を選んで、教科等のエキスパートである指導主事からの確かなアドバイスをもらえます。

指導主事からの確かなアドバイスをもらえます!



2 京都市立学校実地研修

「先生の日」を体験 人との関わりの大切さを学ぶ

必修10日 (11月～3月の期間中)

■教科指導中心の教育実習とは異なり、様々な教育活動を行っている「先生の日」を実際に体験し、児童・生徒への関わり方、教職員間や家庭・地域との連携の大切さを学びます。

■日程や研修先の学校は、希望に沿って調整します。

実際の教育現場を体験!!



4 フィールドワーク

教員向けの研修会などを訪れ現場の理解を深める

3回以上選択 (10月～3月の期間中)

■京都市立学校の特色ある研究発表や、伝統文化体験事業(華道)、青少年科学センター・花背山の家・学校歴史博物館など、京都市の教育施設、京都市教育委員会が主催する教員向けの研修会などを訪れ、教育現場に対する理解を深めます。

■教師塾の卒塾生で、京都市で採用されている先輩の授業を参観して学ぶこともできます。

京都市ならではの教育活動を体験できます!



Report

京都市教育学講座

「小学校における教科学習(道徳)」

今回の講義を受けるまで、私は道徳について正解がないからこそ難しいという認識をもっていた。実際、子どもの頃に、何を書けばよいのか分からず、先生に褒められるような内容を発言したり記述したりしていた。それが、全体会で、道徳では子どもの本音を引き出すことが大切であり、道徳的価値を子どもたちが考えられるようになるものであると教わり、道徳は、その在り方次第で、本当に大切な授業になることが分かった。また、その説明の後の模擬授業で、先生が学び手の本音を自然と引き出された場面や、自分を見つめる時間を十分に確保されていた場面は、説明とも重なり、とても参考になった。また、道徳は、温かい気持ちで終わることができる授業であるという言葉が心に響いたので、学校現場ではその部分を大切にしていきたい。

(養護教諭希望者)

フィールドワーク(京都市学校歴史博物館)

今回のフィールドワークでは、今まで文字でしか認識できていなかった100年を超える京都の教育を多くの価値ある資料を通して体感できた。また、私が過ごした小・中学校の歴史にもふれることができ、より一層、京都市の学校で学んだことを誇りに思えた。振り返ると、職業体験や茶道体験、浴衣登校など、私が9年間の義務教育の中で体験した特別活動は、どれも地域の方々の協力なしには叶わなかったものばかりである。フィールドワークを通して、京都を豊かにするためには、十分な教育の機会が必要であるという人々の想いが、現代まで続いているのだと深く考えることができた。私は、この歴史ある京都の教育を受け継ぐとともに、これからの100年も語り継がれるような教育の場をつくることのできる教師になりたいと思う。

(中学校教員志望者)

学校実地研修

学校実地研修を通して、いくつかの学年の学級を訪れ、教室の中にいる子どもたちには、様々な背景があることを知った。そして、学年の発達段階や子どもの困りの内容によって、声かけや支援の方法は異なっている、どの先生も共通して、まず子どもが頑張ったことを認めて、褒めておられた姿が印象に残っている。子どもたちが「できる」ことに着目して、そこから次の目標や約束を子どもと一緒に立てることで、子どもたちは、「先生は自分たちのことを理解してくれている」という安心感や、「もう少しだけ頑張ってみよう」という意欲をもてること感じた。このような学級担任の先生方の関わり方から、子どもたち一人一人を徹底的に大切にするという姿勢を学ぶことができた。これからも日々学び続けることを忘れず、柔軟に対応する力を身に付けていきたい。

(小学校教員志望者)

第17期塾生のレポートから



特色 充実したサポート体制 平日夜間の補講でも学べる!

現職教員からのアドバイス、レポートへのコメント

●新採教員の研修指導を担当する現職教員などが、少人数グループでの話し合いを進行し、「学級」の雰囲気の中、「担任の先生」という立場でアドバイスをします。
●京都市教育学講座のレポートには、学校現場での管理職経験のある専門スタッフがコメントを付けて学びを深めます。

様々な学びの場

●京都市総合教育センターを会場とした講座のほか、京都市立学校等でのフィールドワーク、10日間の学校実地研修など、様々な学びの場があります。
●豊富な教育資料や2万点を誇る優れた学習指導案を集積した、先生のための図書館「カリキュラム開発支援センター」が利用できます。

平日夜間の補講や、オンライン受講の実施

●大学・仕事等で土曜日の参加が難しいという塾生のために、平日夜間に補講を開催します。補講も参加できない時は、講義等の映像をオンラインで視聴して学ぶことができます。

塾での学びを京都市の教員採用試験に役立ててください

●京都教師塾のカリキュラムは、現職の教員の講義を基にしたグループでの話し合いや学校実地研修、学習指導案作成など、きわめて実践的な内容です。
●京都市の教員採用試験では、全員面接や集団討議など、人物重視の選考を行っています。京都教師塾での学びを大いに役立ててください。

一人一人の子どもを徹底的に大切にする 京都市教育の伝統を踏まえて

